

地図と道標

村越 真

図1に示すような道標も地図の一種であるという、地理学の先生から叱られそうである。「地表面の様子を一定の約束ごとに従って、二次元上に表現したもの」という地図の定義には全く当てはまらない。地図のようにそれが表現する空間を自由に探索する道具として使うこともできない。その意味ではこれは全く地図的ではない。

しかし、この標識を見てある種の地理的イメージを思い浮かべることはできる。うまくいけば目標地点に到達することも可能である。道順を知るには地図、という固定観念を持った現代文明人には信じ難いことだが、このような知識に頼って、長距離を間違いなく移動する砂漠や海洋の民族が存在するのである。彼らは進行方向が変わっても移動しても、「目標はあっち・・・」と思い続けることによって、最終的にはその目標地点に到達することが可能である。もちろんそのためには、個々の場所の特徴やささやかな情報を注意深く利用することが必要である。

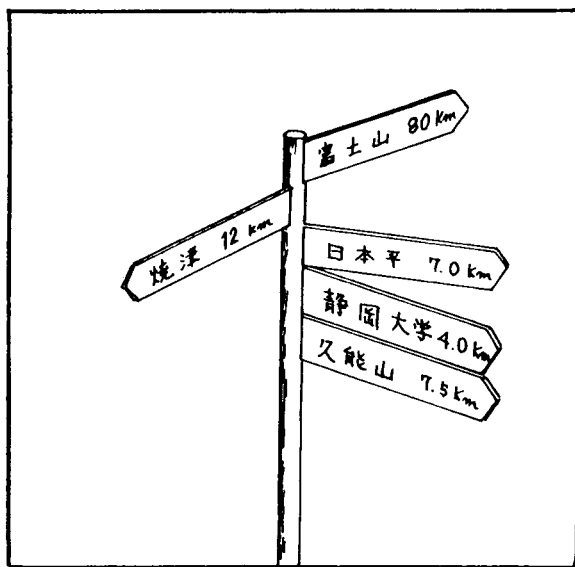


図1 静岡駅にいる時だけ役に立つ「地図」(?)

この意味で地図のような普遍的に利用可能な情報によるナビゲーションと道標のように限定された情報によるナビゲーションは、大学までの勉強と大学からの勉強に似てるいかもしれない。全体のカリキュラムのはっきりした高校までの勉強では、今やっていることが知識体系のなかでどういう意味を持ち、全体にどう関係づけられていくのかははっきりしているし、新しい知識がどうしたら手に入るかも明確である。高校までの知識領域はいわば村はずれまでの領域、

地図が整備されている領域と言える。それに対して、専門の領域は村の外の領域である。「・・・までkm」という道標が一個立っているだけで、その領域がどうなっているのかは未知に等しい。どうやら人通りもまばらになってきている。指導教官さえ「よく分からないけどやってみたら・・・」なんて無責任なことをいう。失敗すると「やっぱりそうか・・・」と納得してしまう。地図による探索に慣れきってしまうと、途中経過の不明な、到達の保証のない探索には不安がつきまとう。だが、途中にどんなものがあるかを想像できてしまう地図と違って、未知のものに出会う楽しみはある。誰もが描いたことのない領域を自分が初めて描くという喜びも待っているかもしれない。たった一つの頼りない道標に導かれての知的空間のナビゲーションがあってもいい。

そう考えると、大学におけるモラトリウムとは、道標を見つけるための時期と言えるかもしれない。我が研究室は就職率の低さから通称「モラトリウム研究室」と呼ばれているが、その結果がなんらかの形でのアカデミックな道標の発見なら、大学の教官として喜ばしいと思う。

(©Shin Murakoshi:教育学部・体育学)

■新しい本■

Music since 1900. Fifth edition (請求記号:760.3/S1)

著者:Nicolas Slonimsky/Schirmer Books 刊 (1994)

英語が得意とは思っていない者でも、この本のタイトルには、一瞬、奇妙な感じを受ける。が、中を開ければ、このタイトルしかないことが分かる。

最初のページ。1900年1月1日とあり、マーチ王スーザがアラビアン・ナイトから題材を求めて作曲した「クリスと魔法のランプ」というオペラがニューヨーク初演されたとある。続いて13日。ボストン交響楽団がR.Goldmarkの「ヒアワサ」(ディズニーに同じ題材の同名の名作アニメがある)を初演。翌14日。ローマで「トスカ」のワールドプレミア……と1900年以降、世界のミュージック・シーンに何があったのかを日付順に追っていく。最後は91年12月23日で、エルンスト・クルシェネクがパーム・スプリングスで91年の生涯(1900年生まれ!!!)を閉じる、とある。

第五版となっているが、最初の版は37年。50年以上の年月がかけられていることになるが、編著者名はただひとつ。37年版もSlonimskyが編纂している。改めて表紙カバーの著者紹介を眺めると、今年の4月には100歳の誕生日を迎える、とある。圧巻は1,200頁のこの本の最後の200頁を占めるLetters and Documents. 後者はともかくも、著者がシェーンベルクやアイブスや(なぜか?♪)バーナード・ショーにもらった手紙の大公開は、けだし、見物(みもの)。

雑誌 システム 公開！

■ 機種更新に伴い「学内雑誌目録」が、利用者端末から検索可能に！

雑誌システムについては、これまでデータの不備などの理由から利用者端末での公開を見合わせてきましたが、データ修正作業がほぼ終了しましたので、システムの更新を機会に公開することにしました。

※ ※ ※ 利用者向け検索 ※ ※ ※			
本システムは、図書館が所蔵する資料の情報を検索するシステムです。お探しの資料について、わかっている言葉（単語）を下記項目に入力し、送信キーを押して下さい。入力方法が不明な方は P F I キーを押して確認して下さい。			
前方一致の場合は、単語の後に * を指定して下さい。 : FORT*			
完全一致の場合は、* を付けずに指定して下さい。 : FORTRAN			
検索する資料を選択して下さい。 [2] (1:図書, 2:雑誌, 空白:図書と雑誌)			
書名・誌名	:	あつた システム	
著者名・団体名	:		
件名 (図書)	:		
分類 (図書)	:		
特集情報 (雑誌)	:		
PF1:入力法説明	PF6:絞り込み検索		

操作の方法は、基本的には前々号でお知らせした「図書」の検索と同一ですが、雑誌データならではの特徴もありますので、ここでは、雑誌に特有な点に絞り説明します。

■ 検索語はくひろく選べ！！

「図書」システムの説明ではできるだけ意味を絞り込んだ検索語を要求していましたが、「雑誌」については、その逆、あまり意味を限定しない言葉のほうが有効なようです。

目的の雑誌の名が、たとえば、確実に「人文論集」と分かっ

ていれば、「ジンブン」「ロンシュウ」と投入すれば良いのですが、それが静岡大学の報告集だとすれば、「シズオカ」「ホウコク」とキーインしてみる手もあります。上図がその時の結果(ヒット件数26のうち最初の16件分です。17件目以降を見たい時は「PF10」を押してください)。

利用者向け検索		該当件数 : 26
[雑誌一覧]		
1 <000000475>	人文論集 : 静岡大学文理学部文学科研究報告.--11号(1960)-.	
2 <000000486>	静岡大学教養部研究報告.--1号(1965)-2号(1966).	
3 <000020542>	静岡県立農事試験場研究報告.--1号(昭26.9)-1号(昭26.9).	
4 <000020553>	静岡工業試験場報告.--1号(昭33.3)-4号(昭35.10).	
5 <000020611>	静岡大学教養部研究報告. 第1部.--16巻1号(1980)-16巻2号(1980).	
6 <000020622>	静岡大学教養部研究報告. 第11部.--16巻1・2合併号(1980)-16巻1・2合併号(1980).	
7 <000020633>	静岡大学工学部研究報告.--1号(1950.12)-.	
8 <000020644>	静岡大学大学院電子科学研究科研究報告.--No.1(1980.3)-.	
9 <000020655>	静岡大学地球科学研究報告.--1号(1975.10)-.	
10 <000020666>	静岡大学電子工学研究所研究報告.--1巻1号(1966.3)-.	
11 <000020677>	静岡大学農学部演習林報告.--1号(昭47.3)-.	
12 <000020688>	静岡大学文理学部研究報告. 社会科学.--1号(1952)-13号(1965).	
13 <000020746>	静岡農林専門学校研究報告.--1号(昭24)-.	
14 <000026028>	静岡大学地学研究報告 : 地学しずはた.--1巻1号(1967.12)-3巻1号(1972.9).	
15 <000051172>	静岡大学教養部研究報告.自然科学篇.--3号(1967)-15号(1979).	
16 <000080795>	静岡大学教育学部研究報告. 教科教育学篇.--1号(1969)-.	
		項番 []
PF7:雑誌詳細表示	PF9:上スクロール	PF11:検索終了
PF8:所蔵一覧	PF10:下スクロール	PF12:検索画面へ

本学および県内の機関が発行した(している)ものが並びます。この中から「1」を選ぶことで、目的の雑誌にたどり着くことができます。項番に[1]を投入し[PF7]を押下すると下図の画面になり、書誌の詳細な情報を得ることができます。

利用者向け検索 〔 書誌詳細表示 〕									
書誌ID<000000475>	国際標準逐次刊行物番号:02872013	LCカード番号 :							
CODEN :	一般資料種別コード :	資料種別コード :							
刊 年 :	出版国コード :	テキストの言語コード:JPN							
原 本 の 言 語 コード:	刊行頻度コード :								
流 用 :	雑誌コード :	略号コード:シロタリ 和欧区分 :1							
配列誌名:0000000	配列発行団体:0000000	商学区分:2	分野別区分:						
標題及び責任表示:人文論集 :	静岡大学文学部人文科学研究報告 シロタリ ロンジュウ								
	: シズオカ タイカク フンリ カクク フン カクカ インキョウ ネツク								
出版社等表示 :	静岡 : 星光堂								
その他の標題 :	人文論集:静岡大学文学部人文科学研究報告:16号(1965.12)-								
著者標目形 :	静岡大学文学部 シズオカ タイカク フンリ カクク								
巻次年月次 :	:11号(1960)-								
変遷注記 :	CF:人文論集:静岡大学文学部人文科学研究報告:16号(1965.12)								
<table border="1"> <tr> <td>PF5 : 書誌一覧</td> <td>PF9 : 上スクロール</td> <td>PF11: 検索終了</td> </tr> <tr> <td>PF8 : 所蔵一覧</td> <td>PF10: 下スクロール</td> <td>PF12: 検索画面へ</td> </tr> </table>				PF5 : 書誌一覧	PF9 : 上スクロール	PF11: 検索終了	PF8 : 所蔵一覧	PF10: 下スクロール	PF12: 検索画面へ
PF5 : 書誌一覧	PF9 : 上スクロール	PF11: 検索終了							
PF8 : 所蔵一覧	PF10: 下スクロール	PF12: 検索画面へ							

〔書誌一覧〕の「人文論集」のすぐ下に注目してください。

「静岡大学教養部研究報告」とありますが、1号と2号の発行だけです。そんなことはない、と思う人は多いはず。ずっと下、項番15に同誌の「自然科学編」の3号から15号の分の記載

があります。また、項目5と6も同誌です。これは、電算化に際し学術情報センターの目録基準に従った結果です。(発行者側がひとつ或はふたつしか発行していないと思っても、この例では8つの雑誌を発行したことになります)

また、本学ではこれまで表紙、背文字等の記述に関係なく紀要・報告書類は発行大学名の元に誌名をとり、配架してきました。右図のどちらの書き方をしてあっても、「☆☆大学文学部紀要」ということになります。ところが、電算機上の目録では左側が「紀要:☆☆大学文学部」となります。ただし書庫内の配架は電算化以前のままで

紀 要
☆☆大学文学部

☆☆大学文学部紀要

す。以上のようなことから、雑誌の検索に際しては、当初から絞り込むことは行わず、一般的なキーワードで始め、「誌名一覧」画面を経由したほうが、かえって検索の効率が良くなるケースが多いと考えられます。

さすが「トウキョウ」だけですとヒット件数161になってしまいますが、「トウキョウ」プラス「ホウコク」にすれば26件です。「シズオカ」でも同じで、106がプラス「ホウコク」で26(偶然の一致!)という数になります。雑誌については、図書のように書誌の数が毎年1万件以上増えるというようなことはなく、多くても数百件ですから、当分の間、ここに掲げたヒットの数字が大きく変わることは無いでしょう。

探している書誌が見つければ、次はそれが本学のどこにあるのかが問題となります。

他大学等から寄贈

などで送られてくる
紀要・報告書類は本
館の書庫にある場合
が多いのですが、購
入分の、特に最近に
発行されたもの(す
なわち、参照される
可能性が大であるも
の)は、各研究室に
置かれているケース
が多いからです。上
図は[書誌詳細表示]

利用者向け検索
(所蔵一覧)

該当件数 : 2

<000000475>人文論集 : 静岡大学文理学部文学科研究報告.--11号(1960)-.

項番	館名	配架場所	請求記号
1	本館	農図	Z-7379-000/NC
	32-43,44(1) + 1981-1992		
2	本館	本館閉架	Z-7379-000/NC
	11-43,44(1-2) + 1960-1993		

項番 []

PF2:製本状況一覧	PF5:書誌一覧	PF9:上スクロール	PF11:検索終了
PF3:受入状況一覧	PF7:書誌詳細表示	PF10:下スクロール	PF12:検索画面へ

画面で[PF8:所蔵一覧]を押下したときの結果。項目[2]に、めでたく本館の閉架(書庫)にもありました。

あなたが院生でしたら、職員に学生証を提示のうえ自分で書庫に入り探してください。(和雑誌の並びは訓令式ローマ字のアルファベット順。繰り返しになりますが、「紀要:☆☆大学」と画面にあっても、配架は「☆☆大学」のところですよ。お間違え無きように)学部生でしたら、残念ながら書庫には入れませんので、運用係カウンターの前にある記載用デスクに置かれている「資料請求票」に必要事項を記入してカウンターに申し込んでください。係員が書庫から持ってきます。

閉架(書庫)以外の本館内の配架でしたら、自分でその場所に行って探してください。本館以外の場所、例えば、人文学部の法経資料室だった時は、係員に申し出て下さい。該当のところとコンタクトをとってくれます。

■ 購入雑誌の最新到着状況もわかる。

[所蔵一覧]画面の図
を見て下さい。その
一番下に[PF3:受入状
況一覧]という表示が
あります。で、「PF3」
キーを押下すると、
事務室でたった今、
受け付けたばかりの
雑誌が表示されるは
ずです。自然科学系

利用者向け検索 〔 受入状況一覧 〕						該当件数 : 7	
<000060264>Library quarterly.--Vol.1, no.1(1931)-.							
項番	巻	号	通号	別冊	頁	発行日	製本状況
1	64	(3)				94-07	未製本
2	64	(1)				94-01	未製本
3	63	(1)				93-01	未製本
4	63	(2)				93-04	未製本
5	63	(3)				93-07	未製本
6	63	(4)				93-10	未製本
7	64	(2)				94-04	未製本
PF2:製本状況一覧		PF5:書誌一覧		PF9 :上スクロール		PF11:検索終了	
PF3:受入状況一覧		PF8:所蔵一覧		PF10:下スクロール		PF12:検索画面へ	

の速報誌では非常に有用な機能だと思われますので、大いに活用下さい。

ワイキキの図書館

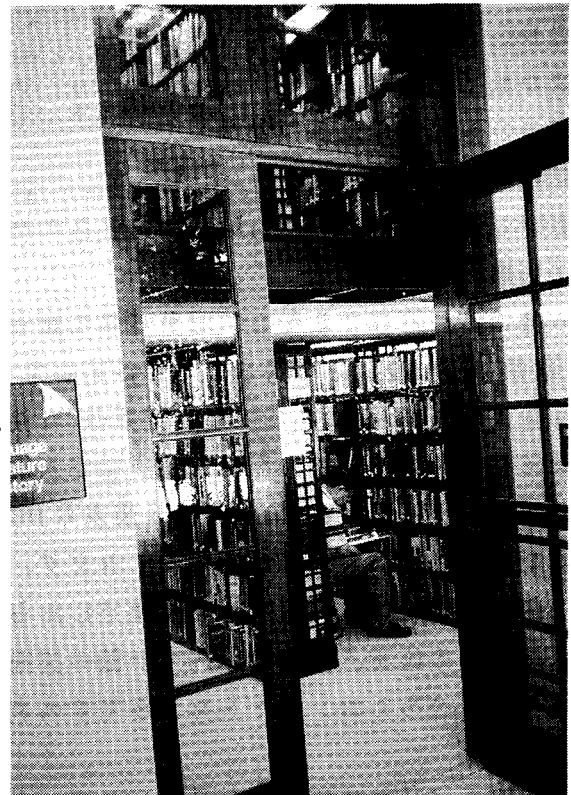
望月信夫

外国旅行に出かけ、旅先で暇ができるとよく図書館に行く(「図書館通信」N0.98,102)。ホノルルでは州立図書館に出かけてみた。ダウンタウンの真ん中、かのカメハメハ大王像の正面に位置する白亜の建物。所蔵数約50万冊で、それが各階2段の積層の開架書架に並べられている。建物自体は荘重な造りだが、館内の雰囲気は明るい。特に、中庭にはテーブルと椅子が置いてあり、そこで読書や食事(?)に励む人もいて、とすこぶる和やか。

ここまでは、図書館屋としてはマア通常の部類に入るだろうが、ワイキキにまで来て、図書館に行くとなると我れながらあきれる……なにしろ、オン・ザ・ビーチのオーシャン・フロントの部屋に滞在しているのだ。ビール片手にラナイ(バルコニー)に出れば、それだけでテンゴク、他にすることは無い筈。

ワイキキのホテル群が並ぶ海岸通りの東のはずれをカパフル通り(この通り沿いに曙のお母さんの相撲グッズの店がある!!!)に入って、徒歩5分、ワイキキ・カパフル公共図書館に着く。広い芝生の中のそれほど大きくない平屋の建物だが、こちらは、それこそ明るさいっぱいの雰囲気。それは外観だけでは無く、館内も同じ。

玄関を入ると、レファレンスのデスクがあり、その横に端末が4台。早速、座ってみる。画面は先の州立図書館本館で見たのと同じ。実は、本館を含めたハワイ全土の49の図書館がネットワークで結ばれており、蔵書等はひとつのデータベースとして管理され



```

Call NUM: 812 G
AUTHOR: Geiogamah, Hanay, 1945-
TITLE: New Native American drama : three plays

PUBLISHER: University of Oklahoma Press, 1980.
Subjects: Indians of North America:Drama

## -----CALL NUMBER-----Material      Location      Status
1  812 G                               Book          HSL-LLH      Charge
2  812 G                               Book          Hilo         Available

For additional information on a copy, type in a line #
-----AVAILABLE COMMANDS-----
T# to view another title  R to request the material  ST to start over
REL to search related terms  E to back up      EXIT to exit

For help type ? <RETURN>
  
```

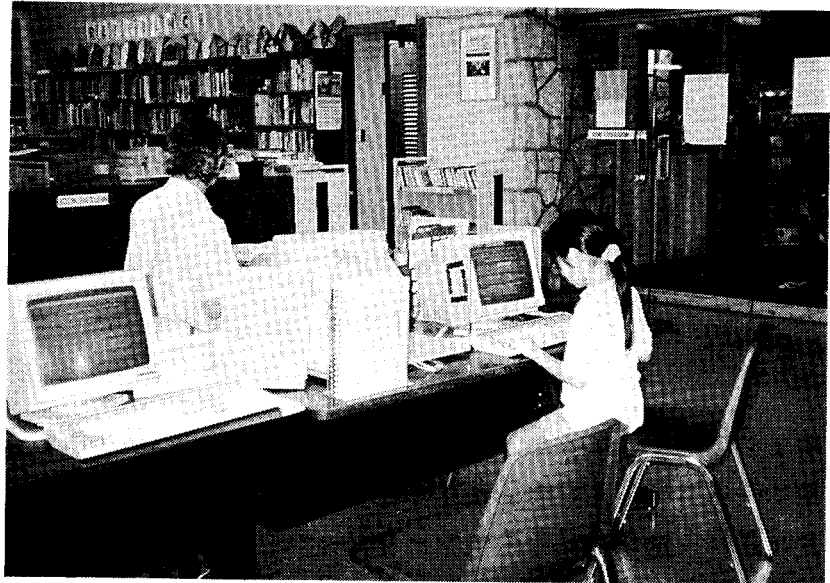
ているのだ。だから、ここに無い本の所蔵も分かる。左図はタイトルで検索した時の例。本館(HSL:Hawaii State Library)のLLH(Language,Literature & History)セクション(ちょうど、上の写真に写っているところ)と、ハワイ島のヒロの図書館に

所蔵されていることが判明する。

この端末からは、図書の所蔵以外にも、約1,100種の雑誌の記事(45%の記事についてはフル・テキスト)を引けるMAGAZINE INDEXES、ホノルル・アドバイザー、ホノルル・スター・ブリテンの2紙の記事が引けるHAWAII NEWSPAPER INDEX、そしてLC-MARCにアクセスすることができる。また、蔵書目録とMAGAZINE INDEXES はパソコンとモデムを用意すれば、各家庭からも見る事が可能。(ミーティング・ルーム等の予約もできる)

以上を総称してPAC(the Public Access Catalog)というが、使用する文字がアルファベットだけということもあり、全体を通じてきわめて使いやすい。

筆者のようなフラットに入った英語が不自由な外国人でも簡単に目的の物に達することができる。これは、ここの館員にとっても自慢のものようで、「私は、実は、日本の大学図書館の者だが、中を見学したい」とレファレンスの人に話かけたら、開口一番「オンライン・カタログは操作したか? どうだった?」。「ベリーユースフルデアル」と答えたら「お前の図書館はコンピュータ・カタログになっているか?」「1988年以降の分がそうになっているが、あまりユースフルデハナイ」——うまく伝わったかな。



ユースフルなのは、PACだけではない。書架の図書の並びも利用者本位、と見た。子ども用と一般成人用に分けるのはわが国でも公共図書館では普通で、子ども用の方でユニークな配列を散見するが、成人向けの方は、NDC(日本十進分類法)に準拠するのがほとんどである。こちらはといえば、フィクション、ノンフィクション、伝記、ハワイ関係、レファレンスと大別されている。ここで、ノンフィクションというのは、立花隆や沢木耕太郎などが書くようなものだけではなく、自然科学、

フィクション、伝記、ハワイ関係、レファレンスと大別されている。ここで、ノンフィクションというのは、立花隆や沢木耕太郎などが書くようなものだけではなく、自然科学、



社会科学などの概説書の
ようなものも含まれる。
小説と非小説と書いた方
が正確かも知れない。で、
小説は、更に、ミステリ、
SF、ウェスタン、ハワイ
アンと、その他(すなわ
ち、一般的な文芸書)と
別けて配架されている。
ミステリの棚に近づく
とその本の背に大きなドク
ロマークや?マークが目
につく。かつての創元推

理文庫である。どこかで見たような、と思ったら(我が国だけとは限らないだろうが)日本での本屋さんでの並び方とほぼ同じである。請求記号イコール配架記号としないのは、全面開架という事情があるにしても、利用者の便を考慮した、ひとつの見識といえる。

ワイキキに滞在することだし、そのつれづれにホテルの部屋でこの本を読みたい、と思った時、貸出はしてもらえるのか?。イエス、である。ただし、地域住民ではないので、貸出証の交付には25ドルが必要。これだけ払えば貸出冊数制限無し、次の利用者(予約)がなければ貸出期限の延長も制限無しである。

我が国と異なることといえば、地域住民でも場合によっては、お金を払う必要があること。最初の貸出証の発行は無料だが、2回目以降は大人で10ドル、子どもだと5ドル必要。電話での期限の延長が可能だが、それさえサボると1日につき25セントの罰金である。権利関係が鮮明な映画大国故か、ビデオの貸出は1本につき1ドル。借り出すものによっては、日本のレンタル屋に限りなく近いお値段。

日本人だらけで、日本語が飛びかうワイキキの浜辺の喧騒から、たった5分歩いただけなのに、図書館の中は、英語だけの、静かな落ち着いた雰囲気、これぞ正にアメリカ、と叫ぶべき世界である。(少なくともワイキキの図書館は。というのは、現在のアメリカでは、特に公共の施設としては、当然のこととしてマイノリティの権利は守られるべきで、貸出証の申込書の裏には、「もしよろしければアンケートに答えてほしい」とあり、質問の中に「何語の本を望むか」とある。で、その下に、英語、ハワイ語、日本語、中国語以下、全部で17の言語があげられている。また、本館には結構大きな英語以外の本のコーナーがある)。

ほんの少し立ち寄っただけだが、とにもかくにも、こと、図書館とコンピュータの利用技術については、まだまだアメリカにはかなわない、という感が強い。(学術情報係)

静岡大学附属図書館報「図書館通信」

第25巻2号(通巻109号) 1994年10月 5日

発行所 静岡大学附属図書館

〒422 静岡市大谷836 ☎ 054(237)1111

印刷所 (株)黒船印刷

© 1994 by Shizuoka University Library